

施 設 だ よ り 11 月

日本シリーズで、日本ハムとの6戦は一喜一憂。36年ぶりの日本一は逃したものの、25年ぶりのリーグ優勝を果たし、広島県人のみならず全国のカープファンに、期待と夢と大きな感動を与えてくれた広島カープ。

つちくれでも多くの仲間たちが夏以来、カープの試合を心待ちにし、一つひとつ勝利を重ねていく勇姿に心を奪われ感動を覚えました。

さて、今つちくれでは来たる13日の「第12回 つちくれ祭」に向けて様々な取り組みを、自治会を中心に仲間たちが進めています。

朝の会では、各クラスで考え、自治会メンバーがまとめたスローガン『みいりの人たち つなげよう えがおのまつり ワッショイ!』をみんなで唱和し、当日披露する『つちくれの詩』と『かぞえうた』を歌っています。

いつもと違うのは、自治会メンバーが昨日の歌の出来栄を踏まえ、「今日歌うとき気をつけなければいけない箇所や声の大きさなどの留意点を、事前に仲間に伝える」など、昨日より素敵な今日の歌にしたいと仲間たちを、主体的にリードし、仲間たちもそれを受け止め、昨日より素敵に歌おうと意識してがんばっていることです。

自治会リーダーを中心にしながら自治会メンバーである仲間たちみんなが、『自分たちの祭』を目指し、意欲を持って一つひとつ取り組む姿は本当に生き生きと光り輝いており素敵です。その姿が嬉しく、頼もしささえ感じます。

さらに今年は、クラス毎の仲間による舞台発表も計画しています。

さくらは“8・6”に向けて平和学習の一環としておこなった千羽鶴献納と平和祈念館見学体験を通して、“自分たちの思いと歌”を発表します。のぞみは“女々しくてのダンス”を踊ります。いきいきは“大きなかぶのペーパーサート”をおこない、米ホーム工房はパンに関する“クイズ”を出題します。

このように、仲間が主人公として活躍する「第12回つちくれ祭」を、ぜひご期待ください。

今年は職員が一歩下がり、仲間たちを後方からサポートしています。が、また一段階成長・発達した仲間達への新たな支援の在り方が、職員の課題となってきました。

最後になりましたが、仲間同士で創りあげる初めての祭が、成功するように皆様方の暖かいご支援とご協力をお願いいたします。